

## 5 施策別指標一覧

※ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和2年度の調査が中止となった指標については、「※R2 調査中止」と記載した上で、令和元年度以前の最新値を記載しています。

### 目標 I 確かな学力の育成

番号	施策指標	計画策定時 (平成29年度)	最新値 (令和2年度)	目標値 (令和5年度)
<b>施策1 一人一人の学力を伸ばす教育の推進</b>				
1	全国学力・学習状況調査において、全国平均正答率(公立)を1ポイント以上上回った教科区分の数	小6 0 (平成30年度)	小6 0 (令和元年度) ※R2 調査中止	小6 全教科区分
		中3 0 (平成30年度)	中3 0 (令和元年度) ※R2 調査中止	中3 全教科区分
2	「埼玉県学力・学習状況調査」において、学力を12段階中2段階以上伸ばした児童生徒の割合 小学校(4年生→6年生) 中学校(1年生→3年生)	小 60.7%	小 51.5%	小 69.2%以上
		中 32.9%	中 43.9%	中 55.2%以上
<b>施策2 新しい時代に求められる資質・能力の育成</b>				
3	「主体的・対話的な深い学び」に関する研修を受講し授業を行った教員数	7,057人	10,791人	13,000人
4	協調学習マイスターによる研修等の回数	67回	90回	200回
5	将来の夢や目標を持っていると回答した児童生徒の割合	小6 85.7% (平成30年度)	小6 85.1% (令和元年度) ※R2 調査中止	小6 95.0%
		中3 74.4% (平成30年度)	中3 73.3% (令和元年度) ※R2 調査中止	中3 80.0%
<b>施策3 伝統と文化を尊重しグローバル化に対応する教育の推進</b>				
6	地域の歴史や自然について関心があると回答した児童生徒の割合	小5 71.3%	小5 67.9%	小5 80.0%
		中2 42.1%	中2 44.7%	中2 60.0%
7	中学校卒業段階でCEFRのA1レベル相当(英検3級等)以上を達成した生徒の割合	中 41.9%	中 45.8% (令和元年度) ※R2 調査中止	中 50.0%以上
8	高等学校卒業段階でCEFRのA2レベル相当(英検準2級等)以上を達成した生徒の割合	高 34.5%	高 37.0% (令和元年度) ※R2 調査中止	高 50.0%以上
<b>施策4 技術革新に対応する教育の推進</b>				
9	授業中にICTを活用して指導する能力がある高校教員の割合	79.2% (平成28年度)	81.3% (令和元年度)	100%
<b>施策5 人格形成の基礎を培う幼児教育の推進</b>				
10	教育課程の接続に向けた小学校区等における幼稚園・保育所・認定こども園・小学校関係者による協議会等の実施の割合	37.9%	65.9% (令和元年度)	100%

目標Ⅱ 豊かな心の育成

番号	施策指標	計画策定時 (平成29年度)	最新値 (令和2年度)	目標値 (令和5年度)
<b>施策6 豊かな心を育む教育の推進</b>				
11	児童生徒の8割以上が身に付けている「規律ある態度」の項目数の割合	小 93.3%	小 81.7%	小 100%
		中 91.7%	中 88.9%	中 100%
12	身に付けた「規律ある態度」の項目数を伸ばした児童生徒の割合	小 54.7%	小 56.4%	小 56.0%以上
		中 48.8%	中 63.9%	中 57.0%以上
<b>施策7 いじめ防止対策の推進と生徒指導の充実</b>				
13	いじめの解消率	81.9%	76.2% (令和元年度)	100%
<b>施策8 人権を尊重した教育の推進</b>				
14	新しい「人権感覚育成プログラム」を活用できる教員を育成した学校の割合	—	49.3%	100%

目標Ⅲ 健やかな体の育成

番号	施策指標	計画策定時 (平成29年度)	最新値 (令和2年度)	目標値 (令和5年度)
<b>施策9 健康の保持増進</b>				
15	毎日朝食を食べている児童生徒の割合	小6 86.6% (平成30年度)	小6 88.5% (令和元年度) ※R2 調査中止	小6 90.0%
		中3 80.7% (平成30年度)	中3 83.3% (令和元年度) ※R2 調査中止	中3 90.0%

施策10 体力の向上と学校体育活動の推進				
16	体力テストの5段階絶対評価で目標を達成した学校の割合	小 75.1%	小 71.4% (令和元年度) ※R2 調査中止	小 80.0%以上
		中 63.8%	中 53.2% (令和元年度) ※R2 調査中止	中 65.0%以上
		高(全日制) 50.7%	高(全日制) 48.5% (令和元年度) ※R2 調査中止	高(全日制) 55.0%以上
17	体力テスト8項目中5項目以上個々の目標を達成した児童生徒の割合	小 54.2%	小 49.1% (令和元年度) ※R2 調査中止	小 55.0%以上
		中 53.0%	中 47.6% (令和元年度) ※R2 調査中止	中 54.0%以上
		高(全日制) 54.7%	高(全日制) 52.1% (令和元年度) ※R2 調査中止	高(全日制) 57.0%以上

#### 目標Ⅳ 自立する力の育成

番号	施策指標	計画策定時 (平成29年度)	最新値 (令和2年度)	目標値 (令和5年度)
施策11 キャリア教育・職業教育の推進				
18	職場体験やインターンシップを実施した高等学校の割合	80.2% (平成28年度)	84.4% (平成30年度)	85.0%以上
19	特別支援学校高等部で一般就労を希望する生徒の就職率	83.2%	81.4%	90.0%以上
施策12 主体的に社会の形成に参画する力の育成				
20	主体的に社会に参画していく力を育成するために外部機関と連携した取組を実施している高等学校の割合	30.9%	36.3%	60.0%

#### 目標Ⅴ 多様なニーズに対応した教育の推進

番号	施策指標	計画策定時 (平成29年度)	最新値 (令和2年度)	目標値 (令和5年度)
施策13 障害のある子供への支援・指導の充実				
—	特別支援学校高等部で一般就労を希望する生徒の就職率(再掲)	83.2%	81.4%	90.0%以上

施策14 不登校児童生徒・高校中途退学者等への支援							
21	不登校(年間30日以上)児童生徒の数及び割合	小	1,368人 0.37%	小	2,121人 0.58% (令和元年度)	小	703人以下 0.19%以下
		中	5,138人 2.84%	中	6,154人 3.49% (令和元年度)	中	3,564人以下 2.01%以下
22	公立高等学校における中途退学者数及び割合	全日制	1,055人 0.91%	全日制	966人 0.86% (令和元年度)	全日制	962人以下 0.84%以下
		定時制	387人 8.00%	定時制	334人 7.69% (令和元年度)	定時制	341人以下 7.40%以下
施策15 経済的に困難な子供への支援							
23	生活保護世帯に属する子供の高等学校等進学率		94.3% (平成28年度)		94.5% (平成30年度)		96.3%
施策16 一人一人の状況に応じた支援							
24	日本語指導に関する研修を受講した教員数		—		201人		500人

## 目標VI 質の高い学校教育のための環境の充実

番号	施策指標	計画策定時 (平成29年度)	最新値 (令和2年度)	目標値 (令和5年度)
施策17 教職員の資質・能力の向上				
—	「主体的・対話的な深い学び」に関する研修を受講し授業を行った教員数(再掲)	7,057人	10,791人	13,000人
—	協調学習マイスターによる研修等の回数(再掲)	67回	90回	200回
25	教職員の懲戒処分件数	23件 (うち管理職)3件	31件 (うち管理職)5件	0件 (うち管理職)0件 (平成31年度～ 令和5年度の 各年度)
施策18 学校の組織運営の改善				
26	小・中学校におけるコミュニティ・スクールの数	281校 (平成30年4月1日)	613校	650校 (令和5年4月1日)
施策19 魅力ある県立高校づくりの推進				
27	県立学校が策定した「学校の活性化・特色化方針」を活用している中学校の割合	70.2%	87.1%	100%
施策20 子供たちの安心・安全の確保				
28	県立高等学校の実験実習棟、記念館等及び食堂兼合宿所の耐震化率	85.5%	94.2%	100% (令和4年度)

施策21 学習環境の整備・充実				
29	普通教室において無線LANが利用できる環境にある県立高等学校の割合	0%	100%	100%

#### 目標Ⅶ 家庭・地域の教育力の向上

番号	施策指標	計画策定時 (平成29年度)	最新値 (令和2年度)	目標値 (令和5年度)
施策23 家庭教育支援体制の充実				
30	「親の学習」講座の年間実施回数	1,697回	458回	2,000回
施策24 地域と連携・協働した教育の推進				
31	学校応援コーディネーターの人数	2,341人	2,487人	3,100人
—	小・中学校におけるコミュニティ・スクールの数(再掲)	281校 (平成30年4月1日)	613校	650校 (令和5年4月1日)

#### 目標Ⅷ 生涯にわたる学びの推進

番号	施策指標	計画策定時 (平成29年度)	最新値 (令和2年度)	目標値 (令和5年度)
施策25 学びを支える環境の整備				
32	1年間に生涯学習活動に取り組んだ人の割合	67.7%	67.8%	73.0%
施策26 学びの成果の活用の促進				
33	生涯学習を通じて身に付けた知識・技能や経験等を地域や社会での活動に生かしている人の割合	28.8%	23.9%	33.0%

#### 目標Ⅸ 文化芸術の振興

番号	施策指標	計画策定時 (平成29年度)	最新値 (令和2年度)	目標値 (令和5年度)
施策27 文化芸術活動の充実				
34	埼玉県芸術文化祭への参加者数	1,468,000人	805,886人	1,500,000人
施策28 伝統文化の保存と持続的な活用				
35	県立博物館等の年間利用者数	915,000人	302,544人	1,000,000人

## 6 結びに

埼玉県教育委員会（以下「県教育委員会」という。）では、令和元年度から「第3期埼玉県教育振興基本計画」（以下「第3期計画」という。）に基づいて、本県教育の振興に取り組んでいます。

第3期計画では、「豊かな学びで 未来を拓く埼玉教育」を基本理念に掲げ、教育をめぐる様々な課題に応じて、きめ細かに、かつ、的確に目標設定を行うため、令和5年度までの5年間に取り組む教育行政の10の目標と30の施策を設定しています。

教育委員会の事務の点検評価については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づいて、平成20年度から毎年実施しており、今年度は、第3期計画の2年目である令和2年度の施策を対象として実施しました。

その結果、県教育委員会所管の27施策において、目標の達成に向けて着実に取り組を進めている施策がある一方、指標設定時の値よりも低下している施策や、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により指標として設定しているデータを求めるための調査が中止となった施策もありました。

いずれの施策においても、点検評価により確認した成果や課題を踏まえ、更なる工夫・改善を図りながら取り組んでいくことが大切であると考えます。

今年度は第3期計画の3年目であり、基本理念の実現に向けて具体的な課題解決に取り組む重要な時期を迎えています。県教育委員会では、市町村教育委員会や家庭、地域等と連携し、県民の理解と協力を得ながら、総力を挙げて諸施策を推進してまいります。

最後に、点検評価に当たり、貴重な御意見・御提言を頂きました学識経験者の方々に、心から御礼申し上げます。



埼玉県マスコット  
「コバトン」「さいたまっち」

豊かな学びで 未来を拓く埼玉教育